



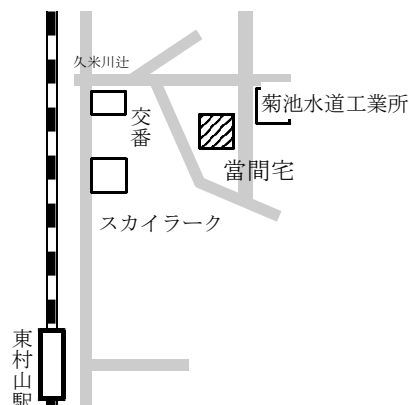
納涼会のお知らせ

- 日時：7月25日(日) 午後4時～午後7時
(雨天でも実施します)
- 場所：當間昭治宅庭園
久米川町3-14-4 (駐車場 駐輪場あり)
TEL 391-6023
- 会費：会員 2,000円
ゲスト 500円
会員家族 無料

稲門会の仲間と親しくなる絶好のチャンスです。
ご家族揃ってご参加ください。

今年も昨年同様、早稲田祭(今年度は11月6日・7日
両日開催)の運営スタッフ(現役学生)4～5名が納涼会
に参加します。

後輩達の熱い思いに耳を傾け、早稲田祭への支援の輪を
広げようではありませんか。



府中街道久米川辻を南へ200
メートル行き
豊島酒造先の信号を右折して20
メートル

会からのお知らせ

○ 8月 定例役員会

- 日時：平成22年8月7日(土) 13:00～14:30
場所：サンパルネ・コンベンション・ホール
(雑学講座の前に行います。)

役員会には会員の皆様はどなたでも参加できます。是非ご出席頂き稲門会の活動等についてご意見をお聞かせください。雑学講座のあと懇親会もありますので、是非ご参加ください。

○ 第69回雑学講座

- 日時：平成22年8月7日(土) 15:00～16:30
場所：サンパルネ コンベンションホール(東村山駅西口駅ビル2F)
講師：赤荻洋一氏(当会会員 昭40商卒)
演題：「鉄道の雑学とヨーロッパを旅して」

鉄道会社に勤務された経験を生かし、まず鉄道についての雑学をいろいろと話していただきます。そしてヨーロッパ21ヶ国を旅し、各地で出会った列車をプロ並みの写真技術を駆使して観光地の風景とともに投影、あわせて迷子になった事や失敗談等も交え、楽しくお話しいたします。

○ 大学関連行事

7月10日(土) 総長招待全国支部長会 10時30分～ 小亀会長出席
商議委員会 14時～ 小亀・山下・小野出席
7月15日(木) 稲門祭実行委員会 18時～ 大内・高鷲・高橋(正)出席

○ 退会 三井正司さん 転勤のため
丹野 寛さん ご逝去のため

○ 早稲田大学第16代総長に鎌田薫教授が当選

白井総長の任期満了に伴う総長選挙が6月15日に行われ、法学部の鎌田薫教授が、社会科学部の小山慶太教授を破り新総長に当選した。

任期は11月5日から4年間

得票数 鎌田 薫 教授 1,028票
小山慶太 教授 844票

鎌田教授の略歴

1948年1月生まれ
1970年早稲田大学法学部卒業
1972年早稲田大学法研究科修士課程 終了
1983年4月 早稲田大学教授
2005年4月 早稲田大学大学院法務研究科 研究科長 専門は民法

鎌田教授は選挙に当たり、いま求められているのは、「早稲田」の本質にある改革への志向性を、安定的かつ永続的に実現する枠組みを構築することだろうと思う。私はそれを「持続可能な改革」と呼ぶこととし、この実現のために努力したいと述べ、以下のような課題を当面の取り組むべき目標とした。

- 教育の質の向上・学生支援体制の高度化
- 国際化の推進・世界への発信
- 早稲田文化・早稲田スポーツの飛躍
- 大学組織の再構築、職員人材の育成
労働環境の整備
- 研究活動における連携強化と基盤整備
- 多様な個性の輝く大学づくり
- 付属校・係属校との連携、校友・地域
とつながる早稲田の実現
- 中長期的な財政基盤の確立



食べ放題(バイキング)は、
自給率・健康面から考え直しませんか？

(S53 1文 上原正行)

昨年、家内と日比谷にコンサートで行った帰り、某ホテルの喫茶ラウンジへ寄りました。ロビーの奥に「バイキング五十年史」として、記録のパネル、写真、記念品の展示コーナーが設けられていました。バイキングは名シェフの考案によるスタイルから始まったようですが、当時は、一般庶民には余り縁のないものだったようです。徐々に、他のホテルやレストラン等、全国に拡がり、今では当たり前のようになっています。私達も、よくケーキやランチバイキングに行っていますが、よく見る光景に、多くの人は余分に取り過ぎ、食べきれず、当然の如く残飯を沢山残して帰ります。

提案ですが、食料を残したらペナルティ(罰金)を与えるというのも一考と思いつきました。バブルで飽食の時代の頃と違い、国内自給率が40%前後の我が国では、半世紀経過した今日、関係者は検討してみても如何と考えます。某ホテルのパネルには、著名人達が、それぞれ五十年史の祝いのコメントを飾っていることが気になったのは、私だけではないように思われます。

また、我が国では、年々老若男女共にメタボリック症候群の人が増加傾向にあります。糖尿病・高脂血症患者が増えて来ております。私の勤務先でも、年々増加しており、将来の生活習慣病全般の増悪を懸念しております。

過食(高脂肪食)は、健康を損ねるのみならず、老化にも繋がると考えられ、寿命の長さを誇っている我が国も、このままでは短命に向かうと想定されます。

今回、某ホテルのバイキング五十年史から、私は、食料に対する“エコ”も皆で考慮し、健康面からも熟慮し、食べ放題制を抑制して行く方向を、皆で検討していく時代になったのではないかと考えます。

食べ放題は、どうしても抑えが効かなくなるものと、自分の経験からの反省を含めて思いのまま記させていただきました。



第68回雑学講座 「私の早稲田と早稲田スポーツ」

平成22年6月5日ふるさと歴史館
講師 守屋幸一郎

講師は当会会員で昭和41年政経学部卒。これまで大隈重信については多方面から語られ伝えられているが、岩崎弥太郎と三菱財閥との結びつきという側面から、特に講師のDNAにもなっている体験を通じた講話というのはきわめて新鮮であり、改めて大隈侯の偉大さというものを認識させるものであったばかりでなく、その内容の具体性から出席者の深い感動を呼び起こし、会場は肅然とした雰囲気にも包まれるものであった。というのも明治28年生まれの氏の父君が岩崎弥太郎の創業事業であった日本郵船に入社された直後に会社の推薦で一時休職して大正3年に早稲田に入学、卒業と同時に復職、生前の大隈老侯の聲咳に接する機会を持ち、その天下の名演説を直接聞かれていた。守屋氏は幼いころから大隈老侯の話を日常聞かされて育ったという体験を持ち、長じて卒業後、創業時三菱の海運事業を支えた三菱鉱業（現在の三菱マテリアル）に入社して会社生活を全うされたという経験から深く大隈重信と岩崎弥太郎についての知識を深めていたという事実が講話の内容を著しく生き生きとしたものにしたいといえよう。

明治新政府における大隈重信の功績についてはすでに万人の知るところであるが、反対勢力であった薩長の圧力に屈せず、幾多の難事業を遂行させたなかで、特にわが国初の鉄道（新橋―横浜間）を敷設させたのは特筆すべき功績で、これが1871年であったことは当時の最先進国の英国でリバプール―マンチェスター鉄道が敷設された年が1830年であったことを考えると驚異的なことであった。線路の敷設に当たって路線に薩摩藩邸があり、抵抗勢力を避けて海岸の埋め立て工事という難工事を遂行させたのも驚くべき事実である。また岩崎弥太郎も薩長藩閥政府ににらまれ、九十九商会から設立させた蒸気汽船会社は政府直轄の共同運輸会社を立てられたことで苦境に追い込まれるが、幾多の苦難の末、弥太郎の死後は弟の弥之助が引き継いでその厳しい競争に打ち勝って両社が合併して、今日の日本郵船が発足した歴史が語られた。大隈重信が薩長政府に追われて在野した後、東京専門学校を設立した動機も大隈老侯の科学技術の必要性に根ざした理の理念、すなわち、日本の近代化という明確な目標が嚆矢であったことの認識をあらたにさせられた。そして財政基盤のない学校事業でいかに創設期の先人が苦闘されたかも。

また明治政府の最大の懸案であった台湾問題の解決は大隈重信の大きな功績のひとつであるが、いち早く海運の重要性を認識し、岩崎弥太郎の蒸気汽船会社を起用し、それに応えて多くの船をかき集め、当時の清朝に対抗して補給線を確保させたことが、日本の勝因になり、このことが三菱のルーツにもなった事実も興味深いものであった。その日本郵船が後年、豪州航路を開設し、その処女航海の安芸丸に日本で始めて、早稲田ラグビー部の海外遠征チームが乗船し、異端児扱いされた選手たちが船内で取った礼儀正しく、献身的な行動によって、乗客、船員たちの尊敬を勝ちえたエピソードも素晴らしいものであった。早稲田スポーツの原点は大隈侯が安部磯雄を東京専門学校に招聘したことがきっかけになる。明治43年には野球チームが初めてアメリカのプロチームと対戦していることは、今日のWBCのルーツと言えよう。

安部磯雄の教えから幾多の人材が輩出し、今日の早稲田スポーツ精神を育てたこと、とくにラグビーはその中核ともいえる存在で、ノーサイドの精神が実践されていることを改めて認識できた。

この日の講話は特に早稲田人にとっては早稲田に学んだ意義とその財産の大きさを再認識させられるものがあったとおもう。

深い感銘を与えた講話であったが、その余韻も覚めやらず、講師の守屋氏を囲んでの懇親会もなごやかな雰囲気の中で熱気で盛り上がり、最後は校歌斉唱での締めとなった。

文責 高橋 正夫（稲門会幹事）

同好会だより

当会会員の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

旅行同好会

世話人

風間和夫
青山 稔TEL 394-5279
393-8372

第7回旅行同好会は、小亀会長以下25名（内夫人3名）の皆さんと、会津の歴史・文化に触れ、そして美しい自然、とりわけ新緑に覆われた山河をたっぷり満喫した旅となりました。

6月7日（月）東村山駅を7時30分に出発。天気は晴れ。バスの車中で初参加の皆さんを紹介。一路目的地の福島へ。途中、アサヒビール福島工場を見学し、お楽しみの試飲会。今回も会員の元アサヒビール副社長藤澤さんの格別の配慮がありました。

飯盛山では白虎隊の剣舞に見とれる。若き少年が自刃した白虎隊19名の眠る墓前でしばし佇む・・・。線香を立て合掌。

芦ノ牧温泉 芦ノ牧グランドホテルには5時に到着。ゆっくりと湯に浸かり至福の一時を過ごす。

6時からの宴会には、会津校友会・平田会長はじめ役員6名の皆さんが参加。2010年稲門祭の記念品に大内さん提案の会津塗小物入れが選定されたご縁での交流の機会が生まれました。

はじめに小亀会長から「一期一会」という言葉があるが「今日のご縁を大切にして友好を深めてゆきたい」、会津校友会・平田会長から「東村山稲門会の皆さんと交流が出来、また会津塗小物入れが選定され大変嬉しい」と挨拶がありました。

乾杯は大先輩の江藤さん。会は和やかに進み、途中小亀会長が「人生劇場」、会津校友会の松本幹事長は「白虎隊、詩吟も入った・・・」を熱唱。そして全員で校歌を高らかに歌い、続いて井垣さんの指導で東村山稲門会歌を披露しました。最後に全員で記念撮影をしてお開きになりました。

二次会では、當摩彰子さん持参のおつまみ、皆さんからの銘酒で深夜まで反省会・・・

二日目 江戸時代の宿場を今に残す大内宿の散策。百万年前の歳月のうちに川や風雨で帯状に浸食された奇怪な岩が点在する“塔のへつり”を見学。

帰路、明治の軍人、乃木希典、夫人を祀る乃木神社（那須塩原）に立ち寄り参拝。

東村山駅に午後6時に無事到着。夫人をはじめ皆さんのご協力で楽しい旅が出来ました。特に世話人の風間さん、大変お疲れ様でした。

〈参加者 順不同・敬称略〉

井垣和太、江藤昌明、大内一男、岡田一郎、小野 智、木谷 肇・同夫人、小亀輝雄・同夫人、鈴木国夫、高橋正夫、高鷲 近、月森通夫、當摩彰子、當間昭治・同夫人、内藤 慎、長井 治、長野長生、額田喜久夫、福田昇七、守谷幸一郎、八木勝利

幹事 風間和夫、青山 稔

（青山 稔 記）

礼状が届きました。

前略

会津への旅は如何だったでしょうか。

次は是非、東山温泉・向瀧へお出で頂ければと思います。

さて、一昨夕は、盛大なおもてなしを頂き、誠に有難うございました。

最初は緊張しておりましたが、開宴と同時にたちまちうち解け、以前からの知り合いのような感じで楽しく過ごさせて頂きました。早稲田の良さを痛感致しました。帰りの車中、会長はじめ他のメンバーも「大変楽しかった」と大感激しておりました。

これを一つの御縁として、今後交流を深めて行く事が出来ればと思っております。

お土産に頂いたお酒、今月の例会で楽しませて頂きます。

本当にお世話になりました。小亀会長様はじめ、会員の方々にもよろしくお伝え下さい。

今後ともよろしくお願い致します。

早稲田大学会津校友会 松本健伺

カラオケ同好会

世話人 内藤 慎 TEL 393-5071



6月例会を6月5日開催、常連の井垣氏、井手氏、滝川氏、高部氏、南湖氏、内藤に特別参加の小亀氏、福田氏、更に神戸から遠路遥遥駆けつけた八木氏の9名で賑やかに楽しみました。

各自夫々が歌いかたに工夫が見られ進歩著しく楽しみです。気楽に歌える集まりです、どうぞ御参加御待ちします。

〈今後の予定〉

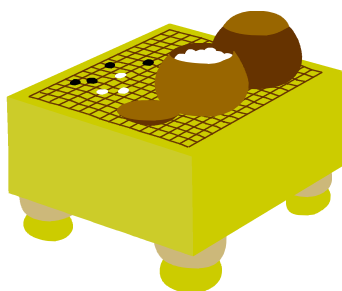
7月16日(金)新宿歌舞伎町 (芽ぐみ)
03-3207-3496
17:00-20:00

8月7日(土) 19:10より
カラオケランド ブー

7月の地元の開催はありませんので宜しく。

囲碁同好会

世話人 福田 晃 TEL 394-0593
高 鷲 近 394-2336



●第10会『オール早稲田囲碁祭』が、去る6月5日(土)、囲碁の総本山日本棋院にて開催されました。早稲田大学の卒業生、囲碁部OB、現役が一堂に会して行われる年に一回の囲碁大会です。

今年は、48チームが参加し、A～Fクラスに分かれて団体戦が行われました。我が東村山稲門会は、Cクラスに参加。鈴木国夫さんが3勝1敗と活躍しましたが、チームとしては2勝2敗の成績に終わりました。

参加者は、次の通りです。

主将…福田晃 副将…鈴木 三将…高鷲 四将…八木正晴
五将…江藤

○東久留米稲門会の山崎さんから、練習試合のお誘いがありました。機会をみて、参加したいと思っています。

音楽同好会 (歌を楽しく歌う会) 世話人 高橋文子 TEL 393-2676



6月の歌う会は6月20(日)午後2時から恩多ふれあいセンターで行われました。今回も世話人の高橋文子さんのピアノ伴奏と曲の名解説ご主人正樹さんのギター・富塚さんのウクレレ・市川彰彦さんのオカリナ・井手さんのハーモニカという豪華な演奏をバックに数々の名曲を歌いました。歌った歌は、早大応援歌「ひかる青雲」「あざみの歌」「故郷を離るる歌」この歌については、ドイツ文学者の重原さんからドイツ語の歌詞と比較し、日本語の素晴らしさについての解説がありました。その他「山小屋の灯」「薔薇が咲いた」「さよならは云わないで」「白いブランコ」「また君に恋している」「白い色は恋人の色」「亜麻色の髪の乙女」「今日の日はさようなら」等を楽しく歌いました。歌の好きな方は是非お出で下さい。

参加者 市川(彰)、井手、江藤、木谷夫妻、小亀夫妻、重原、高橋夫妻、滝川、富塚

次回の音楽同好会(歌を楽しく歌う会)は7月19日(月)恩多ふれあいセンターで17時30分からです。楽しい気楽な会です。初めての方大歓迎。

今回は7月25日(日)に當間邸で行われる納涼会で歌う歌の練習を兼ねて行います。軽食を用意いたします。(会費500円)

(小亀記)

園芸の会

世話人 當 摩 照 夫・彰 子 TEL 396-3033

今回の園芸の会を下記の通り8月18日（水）に行います。今回はさぎ草の開花株の鑑賞会です。数多くの方の参加を期待しております。

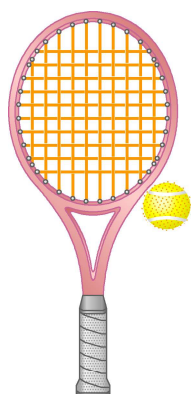


記

日時 平成22年8月18日（水） 午後3時～5時
場所 東村山市市民スポーツセンター、スポーツクラブ室

テニス同好会

世話人 田 島 隆 夫 TEL 396-7676



6月の例会は、6月21日（月）、久米川コート4で行われました。雨を心配し、多少とも水捌けが良いとされる第4コートに変更しましたが、当日は曇りで雨の影響も無く、まずまずのコンディションでした。

参加者は、市川（彰）夫妻、井手、滝来（京）、戸田の各氏と田島の6名でした。戸田さんのスピンサーブと市川夫妻の名コンビ振りが印象に残りました。

次回は日曜日を予定していますので、多数の皆さんのご参加をお待ちしています。

今後の予定

7月 4日（日） 9時～11時 久米川コート 3
（クローズの場合は、8月に2回行う予定）
8月 7日（土） 9時～11時 運動公園 A
（予備日 8月14日（土）
9時～11時 久米川コート3）

ゴルフ同好会

世話人 井 垣 和 太 04-2924-2934



第2回早稲田大学校友会ゴルフ大会のお知らせ

昨年も参加しました、校友会主催「第2回校友会ゴルフ大会」が下記のように開催されます。下記要領をごらんの上、参加希望者は世話人までご連絡ください。締め切り7月18日（日）厳守

記

開催日 : 平成22年11月10日（水） 8:00～
会 場 : 久邇カントリークラブ（埼玉県飯能市）
参加費 : 20,000円（プレー費、昼食代ほか含む）
新ペリア方式で、個人戦、団体戦（上位3名の合計ネット）。飛び賞もあります。

知っ得ゴルフ（3）3番ホール — パートナー —

「素晴らしいコースと良きパートナーに恵まれて・・・」と挨拶をするコンペの優勝者が居ますが、フォアボール以外のストロークプレーでは、「同伴競技者」が正解。同伴競技者からはプレーに関する支援、助言（クラブの番手、芝目の具合等々）は受けられません。パートナーはペア競技とか、1:2で競技するとき自分のサイドの人（味方）を指すのです。従って「良きパートナー云々」は通常のコンペでは間違い表現なのです。ただし、一日中へボゴルフに付き合ってくれるキャディさんは、名実ともにパートナーです。どんなアドバイスでも受けられます。でも4人の共有ですから、自分のプレーに関わっている時だけがパートナー。

『他の人といい気持ちでやっているのに、大きいとか小さいとかうるさいわよお客さん。』（井垣記）

ウォーキングの会

世話人 高橋正夫 TEL 309-3407
土橋雄次 393-5708

第20回ウォーキングの会は従来と参加方式を臨時的に変更して下記要領でおこないます。

「日本銀行本店見学と日本橋一人形町めぐり」

日銀見学は見学希望者の名前と住所の事前登録が必要なため、7月15日までに世話人の土橋宛、申し込みのあった人数で締め切らせていただきます。(申し込み人数枠は20名のため、もし超過の場合は申し訳ありませんが締め切らせていただきます。) 雨天決行

- 1) 日時 7月23日(金) 午前9時45分 —今回は平日開催となります。
- 2) 集合場所 西武新宿線 東村山駅 高田馬場方面ホーム中ほど
- 3) 行程 高田馬場乗換え、東西線で日本橋下車 日銀本店見学開始11時より1時間。
終了後、隣の貨幣博物館見学後、近くで昼食。一名店めぐり—甘酒横丁—
水天宮—水天宮駅—地下鉄・九段下乗換え—高田馬場

参加費無料。ただし昼食費飲み物代各自負担。

今回主幹事は高橋が担当しますが、申し込み締め切り時、不在のため土橋宛てに参加希望の連絡をお願いいたします。



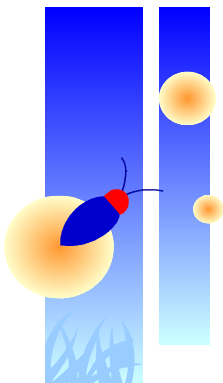
第19回ウォーキング記(5月22日・快晴)

今回は近隣の柳瀬川沿いの散策。秋津駅に集合、空堀川へ。大きな三重塔がある立派な円福時に参拝。空堀川を下り、カタクリの里とセセラギ公園を眺め柳瀬川の河川敷へ入る。清流と白いクローバー(学名・シロツメ草)、赤いアカツメ草など気持ちよい自然が迎えてくれた。整備された金山公園、自然一杯の金山調節池を散策して、柳瀬川の土手で昼食。子供が水遊びを楽しんでいた。水がきれいな証拠。一休みして川を下り滝の城跡(神社)へ。この城は小田原落城までは北条氏が守っていたとか。道を迷いながら東所沢駅へ、解散。(土橋記)

参加者：青山、市川久美子、井出、高橋、土橋、松永(敬称略)。

俳句同好会(稲酔会)

世話人 井垣和太 04-2924-2934



第50回「稲酔」俳句会を6月26日(土)午後1時から、ふるさと歴史館研修室で開催しました。

参加者は井垣稲雀(和太)、出田麦穂(邦博)、風間和夫、小永井哲哉、高部糸行(素行)、内藤慎、丸本北窓(聡明)の常連7名。

投句参加は栗島三郎、大西回生(幸夫)、戸田梶(志郎)、八木竜湖(勝利)の4名。兼題「梅雨」を中心にした55句(回生氏の分は世話人のミスで句会には間に合わず。)を鑑賞、互選し4時半まで勉強しました。

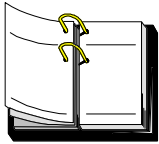
互選の結果最高点句は、風間和夫さんの
短めに髪切る少女夏来る 和夫

が選ばれました。季節の到来を端的に詠った句として多くの方に選ばれました。

句会后「丸藤」で行われた懇親会では、俳句談義にひとしきり花が咲いた後に、麦穂さんからマッサージ法の伝授を受け、健康相談会さながらの賑わいでした。

次回第51回「稲酔」俳句会は、8月28日(土)午後1時から、恩多ふれあいセンター和室で開催いたします。兼題は「初秋」です。

(稲雀 記)



今月の行事（7月）

- 4日（日） テニス同好会
 10日（土） 7月度役員会
 7・8月度お誕生会
 16日（金） カラオケ同好会
 19日（月） 音楽同好会
 23日（金） ウォーキングの会
 25日（日） 納涼会

8月の予定

- 7日（土） テニス同好会
 8月度役員会
 雑学講座
 カラオケ同好会
 18日（水） 園芸の会
 28日（土） 俳句同好会



訃報

当会会員丹野寛さん（富士見町在住・S27政経・84才）には6月1日ご逝去なされました。心からご冥福をお祈り申し上げます。なお、会則によりご香典を差し上げました。

編集局だより

○良くも悪くもスポーツの話題に事欠きませんね。サッカーW杯決勝トーナメントのPK戦での敗退は残念でしたが、TV観戦には熱が入りました。大相撲名古屋場所のNHK生中継は中止となりました。賛否両論あるでしょうけれど、楽しみにしている人もいますわけですから（私の母もその1人）、これも少し残念な気がします。

○次号の原稿締め切りは7月23日（金）です。よろしくお願いいたします。（中村）

fax: 042-391-0581 email: mym-naka@u01.gate01.com

俳壇

古書店のほいを出でて梅雨の月
 ひきだしに古き胃薬梅雨寒し 小永井 哲哉
 糸取りの繭の最期は静かなり 高部 糸行
 狭き庭我が物顔の柿若葉 戸田 梟
 雨上がる谷戸の先には花菖蒲
 いそいそと孫に呼ばれて梅雨の晴 内藤 慎
 梅雨しきり姉は傘持ち幽界へ（八十六才没）
 梅雨晴れ間雲突き抜けるスカイツリー 丸本 北窓
 夏至の日や朝から痛む五十肩
 入梅の翌日晴れの予想かな 八木 竜湖
 紫陽花を廻りて奥に寺の在り
 打つ釘の濡れて冷たし梅雨じめり 栗島 三郎
 梅雨の入り閑居する日のまた増えて
 父の日や安否気遣うメール来て 井垣 稻雀
 算食系男子疎まし梅雨じめり
 関の声一氣に吸いし夏の雲 出田 麦穂
 主語省く妻の物言ひ五月闇
 オキナワの声届かざり梅雨曇 大西 回生
 寒暖のシーソーに酔う梅雨さなか
 泰山木ひたすら大葉も花も 風間 和夫
 短めに髪切る少女夏来る
 梅雨晴間傘くるくると下校の子 菊田 一平
 草刈ってポートハウスのポート番
 たちまちに小さくたたまれ鮎の竿